



昭和前期の報徳運動と報徳教育 「長所美点」をめぐる「対話」の教育史

須田将司 著

A5判 450頁 定価 4,950円 (本体 4,500円)

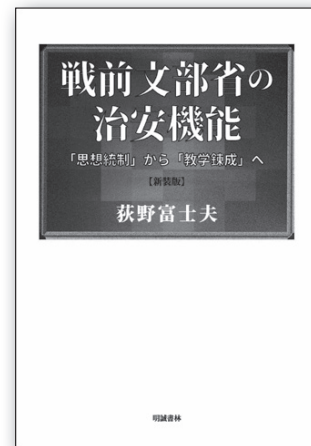
本書は、1930～50年代の激動の「昭和前期」に「報徳教育」に活路を見出そうとした教員群像の姿を照らし出そうとするものである。それは、教育史実を掘り起こすのみならず、時期や立場によって「自力更生」「錬成」「民主主義」など振れ幅のある理論・実践が生み出された点に、「生きる力」「愛国心」「主体」「対話」などに揺れる2000年代以降の教育改革との重なりを見出そうとする試みでもある。

戦前文部省の治安機能 【新装版】 「思想統制」から「教学錬成」へ

荻野富士夫 著

A5判 480頁 定価 9,790円 (本体 8,900円)

本書は、戦前公教育を貫通していた「教育勅語」に発する「正統的イデオロギー」が、比較的その呪縛を免れていた高校・大学などにおいて、どのように浸透し席卷していくのかを丁寧かつ詳細に追っていき、とりわけ1930年代後半から「教学錬成」の概念が当時の教育全般を広く深く覆っていくことに着目した大著である。



鈴木道太研究 教育・福祉・文化を架橋した先駆者

増山均 編著

A5判 372頁 定価 3,960円 (本体 3,600円)

「小学校教員」「児童福祉司」「子ども会指導者」「教育評論家」「短大教授」として多彩な経歴から子どもと関わり、先駆的な仕事を果たした鈴木道太の歩みと業績をトータルに捉えた、初めての研究書を刊行。



近代日本教育会史研究 【新装版】

梶山雅史 編著

A5判 422頁 定価 5,060円 (本体 4,600円)

明治10年代、全国各地に登場した教育会は、日本教育史上全く新たな組織・システムを作り上げた。教育会の本格的な研究である本書は、日本教育会史像の点検と再構築を提起する。

明誠書林

〒357-0004 埼玉県飯能市新町28-16 TEL042-980-7851
FAX042-980-7852 <https://meiseishorin.com>